


ふりがな	かみのまちいせき	
遺跡名	上ノ町遺跡 第6-5次調査(北側) 第6-6次調査(南側) (茅ヶ崎市No.148遺跡)	
調査期間	20121101～1231(中日本高速:北側) 20130117～0228(国土交通省:南側)	
所在地	茅ヶ崎市西久保字大町	
時代	古墳 奈良・平安 中世 近世	

更新日:平成25年8月1日

調査原因	第6-5次調査 中日本高速道路株式会社による首都圏中央連絡自動車道(茅ヶ崎JCT)建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査 第6-6次調査 国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所による一般国道468号(さがみ縦貫道路)建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
遺跡位置	茅ヶ崎市北西部、JR東海道線・相模線 茅ヶ崎駅から北北西約2.5kmに位置する。
主な調査成果	さがみ縦貫道から新湘南バイパスへがにつながる部分の南北2カ所の調査を行いました。本遺跡は新湘南バイパス建設時にも発掘調査が行われており、これまでに古墳時代、奈良・平安時代、中・近世の遺跡が見つかっています。今回の調査では、中世・近世の溝状遺構をはじめ、奈良・平安時代の竪穴住居址などが見つかっています。



▲ 南側調査区近景



▲ 南側調査区溝状遺構完掘状況(中世)



▲ 北側調査区竪穴住居址完掘状況



▲ 北側調査区竪穴住居址遺物出土状況(奈良・平安時代)